

学位申請の手引き

令和8年4月

歯学部学務係

電話：088-633-7310

メール：isygakumu2k@tokushima-u.ac.jp

1. 大学院口腔科学研究科 学位論文審査手順

学位申請書類を学務係へ提出

※提出期限は必ず別紙「学位審査日程」を参照

※学位申請書類の記入の際は、必ず本手引きを確認してください。



	開催日	備考
I 予備審査 (大学院教務委員会) ・提出書類の確認と口腔科学研究科長への報告	毎月25日前後	
II 第一次学位審査 (教授会) ・学位申請受理の決定 ・主査・副査の決定	原則、 「I」の翌月の 第2木曜日	
III 学位論文の審査及び最終試験 (公開審査) ・審査結果を口腔科学研究科長へ報告	指導教員と 主査・副査が 調整した指定日 ※	・学位申請者は、公開審査の抄録を作成して開催日の1週間前までに学務係へ提出すること。 ・学位申請者の指導教員は、開催日の1週間前までに、掲示やalldentメール等により、各分野に開催日時を通知すること。 ・主査は、公開審査終了後、第二次学位審査(教授会)の1週間前までに下記書類を学務係へ提出すること。 ・論文審査の結果の要旨(様式10) ・最終試験報告書(様式11)
IV 第二次学位審査 (教授会) ・投票による合否決定	原則、 「II、III」の翌月の 第2木曜日	

※「II 第一次学位審査(教授会)」と「III 公開審査開催日」の間は、少なくとも1週間以上日を空けること。

2. 学位審査提出書類 (提出先：歯学部学務係)

【博士課程／博士後期課程】 ※書類はすべて片面印刷で作成すること (⑤のみ両面印刷可)

※書類はホチキス留めをしないこと。

様式		部数	備考
学位審査に係るもの			
①	(様式1) 学位申請書	1部	
②	(様式5) 履歴書	1部	
③	(様式6) 研究内容報告書	1部	
④	(様式7) 業績目録	1部	
⑤	掲載論文の別刷又は受理された論文のコピー	12部 及び PDF データ	教授会及び予備審査用
⑥	論文掲載証明書	1部	掲載予定の場合のみ
⑦	論文が改稿中であることが分かる書類	1部	改稿中の場合のみ
⑧	(様式8) 論文内容要旨	1部 及び PDF データ	
⑨	(様式9) 共著者の承諾書	共著者各1部	共著者がいる場合のみ
⑩	(様式13) 誓約書	1部	
⑪	公開審査申込書	1部	
⑫	研究活動におけるチェックリスト	1部	
⑬	研究指導計画書・報告書	1部	
学位論文のインターネット利用による公表に係るもの			
⑭	(様式1) 学位論文の徳島大学機関リポジトリによる公表申請書	1部	
⑮	⑭についての根拠資料 (出版社あるいは学会の self-archiving policy を記載した webpage を印刷したもの、または出版社あるいは学会にメールで問い合わせた場合は回答メールの写し)	1部	該当箇所には下線を引き、英語で記載されている場合は簡単な和訳をつけてください。
○上記⑭の公表申請書において、公表を延期または公表できない場合			
⑯	(様式2) 論文の要約	1部 及び PDF データ	
⑰	(様式3) 学位論文の徳島大学機関リポジトリによる公表に関する事由に係る報告書	1部	⑭の公表申請書の提出後に、「論文全文の公表可能予定日に変更が生じた」「論文全文の公表を中止しなければならない事由が生じた」「論文全文の公表が可能になった」等の場合に、提出してください。

3. 書類作成例及び留意事項

様式1 (博士課程及び博士後期課程用)

令和 年 月 日

徳島大学長 殿

署名

学位申請書

このたび、徳島大学学位規則第6条第1項の規定に基づき、博士の学位論文の審査及び最終試験を実施くださるよう関係書類を添えて申請します。

履 歴 書

↓赤枠内は記入しないでください。

報告番号	甲 口 甲口保 乙 口 第 号 乙口保 口 修	
(ふりがな) 氏 名	とくしま たろう 徳島 太郎	男 女 男
生年月日 (和暦)	平成〇〇年〇〇月〇〇日 (※留学生は西暦で記入)	
本 籍	徳島県 (※都道府県名を記入)	
現住所	徳島大学歯学部卒業日は、原則3月3日。 ただし、卒業年度によって異なる場合があるため、卒業証書等で必ず確認すること。	

書類の記載はすべて和暦で統一する。(留学生は西暦で統一する。)

令和〇〇年3月〇〇日 令和〇〇年4月〇〇日	学 歴 徳島大学歯学部歯学科卒業 徳島大学大学院口腔科学研究科〇〇〇〇専攻〇〇課程 (〇〇〇〇分野) 入学 現在に至る
令和〇〇年4月〇〇日	研 究 歴 徳島大学大学院口腔科学教育部〇〇〇〇専攻〇〇課程 (〇〇〇〇分野) 入学 現在に至る
令和〇〇年〇月 〇日 令和〇〇年〇月〇〇日 令和〇〇年〇月 〇日	職 歴 徳島大学病院研修医 採用 徳島大学病院研修医 退職 徳島大学病院診療支援医師 採用 現在に至る
令和〇〇年〇月〇〇日	資 格 第〇〇〇〇〇〇号 歯科医籍登録

第3次入試により入学した者は、入学日を4月15日とする。

文頭を揃える。

入学年度によって、大学院の名称が異なる。
令和3年度以前に入学した者は、“口腔科学教育部”とし、令和4年度以降に入学した者は、“口腔科学研究科”とする。

賞

罰

なし

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

署名

↑年月日は、様式1・様式13と合わせる。

※ 注意 ※

単位取得退学者は、学歴と研究歴に、「令和〇年3月31日 徳島大学大学院口腔科学研究科〇〇〇〇専攻
〇〇課程（〇〇〇〇分野）単位取得退学」と記載すること。

また、最終学歴及び最終研究歴が「単位取得退学」の場合は、「現在に至る」は記載しない。

様式6

研究内容報告書

↓赤枠内は記入しないでください。

報告番号	甲口 甲口保 乙口第 号 乙口保 口 修	氏 名	
------	----------------------------------	-----	--

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

- ※ ①研究背景（先行研究から見出した着眼点等）、②研究目的、③材料と方法、④結果、⑤考察、⑥研究の今後の展望・発展性、等について記載する。
- ※ ページ数は、2～3ページ程度を目安に作成する。
- ※ 論文題目は、発表された（受理された）論文題目と一字一句同一であること。
大文字・小文字・イタリック体・下付き文字など、すべて正確に記載する。
- ※ 英語題目の下に、日本語題目を（ ）書きで記載すること。日本語題目は、様式8・13等と一致させる。

様式7

業 績 目 録

↓赤枠内は記載しないでください。

報告番号	甲 口 甲口保 乙 口 第 号 乙口保 口 修	氏 名	
------	-------------------------------------	-----	--

(学位論文)

- ※ 論文題目は、発表された(受理された)論文題目と一字一句同一であること。
大文字・小文字・イタリック体・下付き文字など、すべて正確に記載する。
- ※ 英語題目の下に、日本語題目を()書きで記載すること。日本語題目は、様式6・8・13と一致させる。
- ※ 他の業績と同様、学位論文題目の他に、雑誌名、発表日、巻・号・ページ、著者名なども記載する。
論文改稿中の状態で学位申請書類を提出する場合は、以下の例のように改稿中である旨を記載したうえで、決定している事項と未定の事項が分かるように記載する。
記載例) ○○○Journalにて改稿中、発行日・巻・号・ページ未定

(その他の学術論文)

- ・
- ・

(学会発表)

- ・
- ・

(受賞等)

- ・
- ・

(所属学会)

- ・
- ・

(その他)

- ・
- ・

- ※ 数が多い場合は、それぞれ番号を付す。
- ※ ない場合は「・」を削除し、「なし」と記載すること。

共著者の承諾が得られてから学位申請すること。承諾書の日付は、様式1・5・13の日付よりも前でないといけない。

共著者の承諾書

令和 年 月 日

徳島大学大学院口腔科学研究科長 殿

論文題目は、発表された（受理された）論文題目と一字一句同一であること。大文字・小文字・イタリック体・下付き文字など、すべて正確に記載する。

所属・職名は、現職を記載する。

共著者氏名 印
所属・職名
連絡先 電話番号及びメールアドレス

論文題目「 」

令和 年 月 日発行 ○○雑誌第○巻第○号○○～○○ページに発表済

共著者としての役割：○○○○を担当しました。

私との共著による、上記論文を、○○○○氏が徳島大学で発表されました。
なお、将来においても学位論文として他に使用しまた、本研究には、研究倫理にのっとり、研究不正はありません。

論文改稿中の状態で学位申請書類を提出する場合は、以下の例のように、決定している事項と未定の事項が分かるように記載する。
記載例) ○○○○Journalにて改稿中、発行日・巻・号・ページ未定

各共著者の実際の役割に応じて記載する。

同氏が提出する学位論文の本文全体を徳島大学機関リポジトリで公表することに

- 同意します。
- 同意しません。

(どちらかにチェックを入れてください。)

チェックが入っていることを提出前に確認する。

(注)

- 学位規則(昭和28年文部省令第9号)に基づき、平成25年4月以降に学位を授与される学位論文は、原則として当該博士及び修士の学位を授与する大学の機関リポジトリにより、その全文を公表することが定められています。
- 上記1の理由により、万が一チェックに不備がある場合は、学位論文の本文全体の機関リポジトリ公表に同意いただいたものと判断させていただきます。
- 雑誌発表に伴い共著論文の著作権が出版社等に移動している場合は、現著作権者の意向を尊重させていただきます。

誓約書

令和 年 月 日

↑日付は、様式1・5と合わせる。

徳島大学長 殿

() 内には、
口腔科学専攻の場合：「歯学」又は「学術」と記入。
口腔保健学専攻の場合：「口腔保健学」又は「学術」と記入。

学位申請者氏名 (自署)

学位申請論文名

私は、博士 (〇〇) の学位申請にあたり、研究倫理に関する () 改ざん、盗用及び論文の二重投稿等研究不正をしていないこと

論文題目は、発表された (受理された) 論文題目と一字一句同一であること。

大文字・小文字・イタリック体・下付き文字など、すべて正確に記載する。

英語題目に続けて、日本語題目を () 書きで記載すること。

※日本語題目は、様式6・7・8と一致させる。

主任 (指導) 教授

剽窃防止ソフトを用い上記論文を調査するとともに、上記論文の

所 属

主任 (指導) 教授 (自署)

公 開 審 査 申 込 書

申込年月日	令和 年 月 日 ←日付は、様式1・5・13と合わせる。	
発 表 者	氏 名	
	身分 (現職名)	口腔科学研究科○○○○専攻 (○○課程) ○年
	最 終 学 歴	昭和 平成 年 月 卒業 令和
	研 究 歴	年 月 該当する元号を○で囲む。
	外国語試験 (社会人・論文博士 のみ記載)	昭和 英語 平成 年 月 令和 様式5で記載した研究歴について、 現在まで通算して何年何か月かを記 載する。
	主任指導教員氏名	
発表題目	○○○○○○○○○○○○○○ (※学論文題目を記入)	
公開審査希望年月日	令和 年 月 日 公開審査日は、第一次審査の教授会 から、原則1週間以上空けること。	
主査・副査 希望教員 (講師以上5名※うち3名教授)	主査・副査希望教員 (講師以上5名※うち3名は教授) を記載する。 ※主査・副査は、教授会にて選出されます。 必ず希望通りとなるとは限りませんので、ご了承ください。	
司会者氏名 (主査又は副査から選出)		
備 考		

学位論文の徳島大学機関リポジトリによる公表申請書
(博士課程・博士後期課程・論文提出による博士学位申請用)

令和 年 月 日

徳島大学

論文題目は、発表された(受理された)論文題目と一字一句同一であること。大文字・小文字・イタリック体・下付き文字など、すべて正確に記載する。

所属 口腔科学研究科博士課程〇〇〇〇分野
(フリガナ) トクシマ タロウ
氏名 徳島 太郎
(要自署又は記名押印)

論文名	
学位論文、または学位論文の主論文の公刊情報 (雑誌名、巻号、ページ、発行年月等)	
キーワード (5個程度)	
連絡先 (Tel・e-mail)	Tel : e-mail :
学位取得後の連絡先 (Tel・e-mail)	Tel : e-mail :
指導教員(紹介委員)氏名(要自署又は記名押印)	

論文改稿中の状態で学位申請書類を提出する場合は、以下の例のように、決定している事項と未定の事項が分かるように記載する。
記載例) 〇〇〇〇Journalにて改稿中、発行日・巻・号・ページ未定

申請時点で全文公表ができない場合でも、学位授与日から1年以内に全文公表可能な場合は、こちらを選択。
※学位授与日(予定)が知りたい方は、学務係へお問合せください。

※ 指導教員(紹介委員)に自署又は記名押印による許諾を受

公表の内容

以下の□にチェックしてください。また必要箇所には記入して

論文全文の徳島大学機関リポジトリによる公表を申請します。

※ 学位授与日から1年以内に学位論文全文を公表できる場合に選択してください。

論文全文の徳島大学機関リポジトリによる公表の延期を申請します。延期事由の消滅までは論文の要約の公表とし、事由消滅後は論文全文の公表に切り替えていただくことを、併せて申請します。

全文の公表を保留する事由	
<input type="checkbox"/> 図書出版・学術誌等への掲載：出版社または学会の著作権ポリシーを確認した結果、学位を授与される日から1年以内に公表することができない。(公表可能予定日：公表保留期間の経過後) 【出版・掲載(予定)：令和 年 月】 【出版社または学会指定の公表保留期間：出版・掲載から 月】	
<input type="checkbox"/> 特許出願予定又は審査中(出願公開前) (公表可能予定日：出願時期(予定)から1年6ヶ月後)	【発明の名称：
<input type="checkbox"/> 実用新案出願予定又は審査中 (公表可能予定日：出願時期(予定)から6ヶ月後)	【出願番号： 【出願時期(予定)：令和 年 月】
<input type="checkbox"/> その他 (具体的な事由を記入してください)	
【公表可能予定日：令和 年 月 日】	

出版社・学会のWebサイト等を確認するか、直接問い合わせてください。附属図書館でも相談を受け付けます。

※ 学位授与日から1年以内に学位論文全文を公表できないやむを得ない事由があるが、その後解消する予定がある場合に選択し、事由及び関連する日付・期間を記入してください。事由の上で事由が認められるまで論文全文の公表までは、論文の要約(様式2)の公表を申請してください。
※ 関連する日付・期間等については、できるだけ詳細に記入してください。
※ 申請された日付・期間の経過後、原則として要約に変更がある場合は、必ず「学位論文の徳島大学機関リポジトリによる公表申請書(様式3)」を提出してください。

「論文全文の公表を申請」「論文全文の公表の延期を申請」する場合で、論文が学術雑誌掲載済の場合は、掲載版のファイルとアクセプト直後のファイルの両方を提出してください。

